

■□■評価軸(案)と再配置案作成の考え方■□■

■ 再配置案を比較評価するための評価軸(案)

理想の将来像「こんな大江山になったらいいな」から現状を見つめ直し、大切にしたい9つの視点を手がかりに、再配置案の施設（ハード面）に関する評価軸（案）を整理しました。

大切にしたい視点	第1～3回WS意見	評価軸(案)	
①誰もが自分らしく活躍できる(福祉・高齢者・若者・居場所)	子どもから高齢者まで住民同士が交流できる機能を大切にしたい。多世代交流のリクリエーションや茶の間などを開催できる場を残してほしい。	・ 住民同士が交流できる居場所は確保されているか。	
	老人憩の家は高齢者の憩いの場になっている。地域にあってほしい。		
	憩の家の風呂は廃止して、人々が集う憩いの場としてはどうか。	・ 誰もが気軽に利用できる施設になっているか。	
	農改センターや憩の家は、誰でも気軽に公平に利用できるように、若い世代の意見を聞きながら利用規定や管理体制を整え、利用者を増やす。		
	農改センターは雨漏りなど老朽化しつつあるが、地域内唯一の多機能施設であり、手を入れながら機能アップして長く使っていきたい。		・ バリアフリー施設となっているか。
	農改センターはスリッパでなく土足で入れるようにし、トイレは広い洋式にする。		
階段の昇降が困難な人が安全に2階に行けるように、エレベーターや車いす用昇降機を設置してほしい。	・ 多世代が交流できるスペースは確保されているか。 ・ 幅広い年代が使える施設となっているか。		
段差やトイレの広さなど、バリアフリー化等の安全な方法を検討すると良い。			
図書室には学習室や、子育て中の親子や高齢者向けの読み聞かせの場など、幅広い世代が安心して過ごせる明るくて広い居場所が必要。			

大切にしたい視点	第1～3回WS意見	評価軸(案)
②ビジネスの挑戦を応援する(産業振興)	大江山の農産物を販売する朝市ができるスペースや、地区内の店舗や事業所が経済活動を行える場所を農改センターや憩の家に確保してほしい。	・ 多用途に利用できる施設になっているか。

大切にしたい視点	第1～3回WS意見	評価軸(案)
③心も体もウキウキ動きたくなる(スポーツ・健康)	<p>他地区のコミュニティハウスでは小さいスペースでも卓球をしている。研修室などの小スペースでも多様な使い方をできるようにする。</p> <p>多目的ホールはスポーツ、講演会などいろいろな使い方をしてるので、この地域では絶対必要である。</p> <p>健康のために歩くスペースを作ってほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 多用途に利用できる施設になっているか。 • 身体を動かす広いスペースは確保されるか。

大切にしたい視点	第1～3回WS意見	評価軸(案)
④学びあい成長を喜びあえる(子育て・教育・生涯学習)	<p>子育て機能が不足しているので充実させる。子どもが遊ぶスペース、保育相談や親同士が交流できる場所と仕組みが必要だ。</p> <p>図書室はテーブルとイスがあれば今の部屋でなくともよい。学習室や読み聞かせの場など、多世代が利用できる明るくて広い居場所としての機能が必要。</p> <p>子どもが過ごせる場や、高齢者から学ぶ場、世代間交流できる機会を設けるなど、子どもたちには地域の中に学びの場があることが大切。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 親子が集えるスペースは確保されるか。 • 若者が過ごしやすい居場所・学習スペースは確保されるか。 • 多世代が交流できるスペースは確保されるか。

大切にしたい視点	第1～3回WS意見	評価軸(案)
⑤-1 持続可能にする・財政負担を減らす(空き空間・部屋利活用・財源生み出す)	<p>農改センターや憩の家は施設維持費の増大や利用者の減少が気になる。利用料の徴収や、利用しやすい仕組みづくり、稼げる企画を民間に委託するなどしてはどうか。利用者を増やし、今ある機能は全て残したい。</p> <p>農改センターには多世代が利用できる多目的な機能を集中させたり、有料化したりする方が維持管理コストを抑えられるのではないかと。</p> <p>多目的ホールをネットで仕切り2面にして1面ずつ貸し出すことを可能とすることで利用の拡大につなげてほしい。</p> <p>利用率の低いところは縮小統合には賛成。建て替えは必要な機能を取り入れた上で、面積を縮小するとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 施設運営コストは削減されるか。 • 維持更新費用は削減されるか(改修・改築費)。 • 施設面積は削減されるか。 • 施設の効率的な活用に繋がっているか。

大切にしたい視点	第1～3回WS意見	評価軸(案)
⑤-2持続可能にする・財政負担を減らす(アクセスしやすい立地)	施設を減らし集約することは必要だが、農改センターや憩の家は、送迎バスを整備するなど、アクセスしやすい交通手段の確保が必要。	<ul style="list-style-type: none"> アクセスしやすい施設配置となっているか。 歩いて行ける場所に集まれる施設はあるか。
	<p>一人暮らしの高齢者が気軽に歩いて立ち寄れる地域の茶の間のような場所が必要だ。</p> <p>駐車場や駐車スペースの白線を分かりやすくするなど、誰にでも使いやすく整備する。</p> <p>農改センターの駐車場の規模を検討し、柔軟な運用ができるようにしてほしい。</p>	

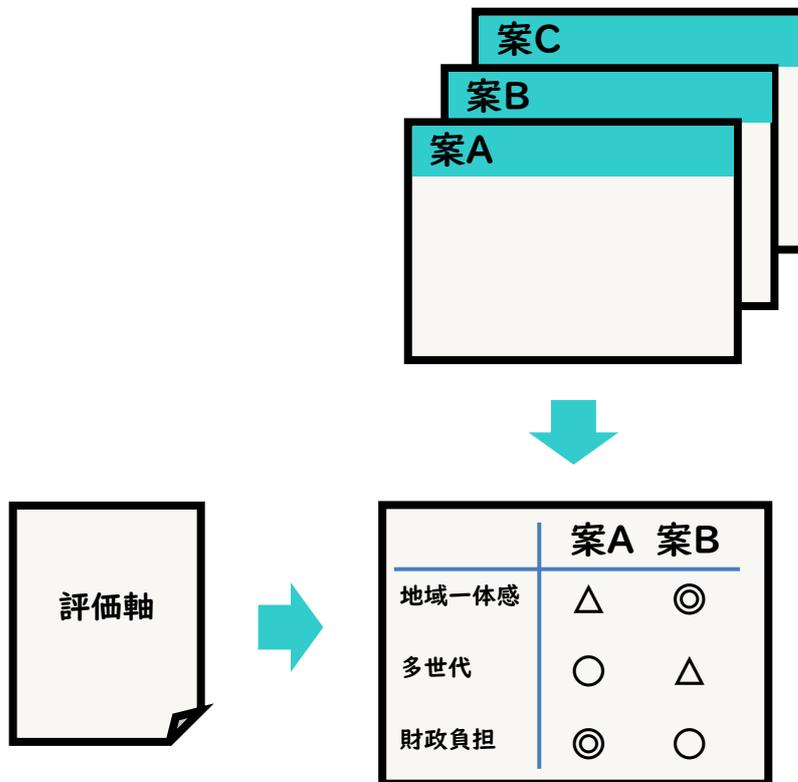
大切にしたい視点	第1～3回WS意見	評価軸(案)
⑥人とのつながりで安全・安心を守る(防災・セーフティネット)	<p>農改センターは避難所として、多目的ホールを避難スペース、料理実習室を炊き出しのように、利用できると思う。</p> <p>大江山は水害に弱い地域なので、農改センターは3階建て以上の堅牢な施設が望ましい。</p> <p>農改センターは災害時に配慮した改修、整備が必要。備蓄倉庫やシャワー設備を整えるなど防災拠点としての複合施設にするべきだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安心して生活するため、災害時に避難できる施設はあるか。 地域に備蓄倉庫は整えてあるか。

大切にしたい視点	第1～3回WS意見	評価軸(案)
⑦新しい技術で生活を便利にする(IT・暮らし)	<p>農改センターや図書室などの利用、災害時の地域の情報共有をIT化する。IT利用が苦手な人にはサポートをする。</p> <p>新潟市の図書館貸出サービスをネットで利用し、民間の宅配サービスでほんの取り寄せや返却ができれば、図書室はなくてもよい。学習室などの居場所があればいい。</p>	—

大切にしたい視点	第1～3回WS意見	評価軸(案)
⑧歴史・文化を守り創造する(文化・芸術・祭り・イベント)	<p>農改センターは大江山の中心にあり、利便性が良く、人が集まりやすい。多様な年代の利用者がいるので世代交流につながる。大人数が集まれるこの規模の施設は必要だ。</p> <p>多目的ホールはスポーツ、講演会などいろいろな使い方をしている、この地域では絶対必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大人数が集まるスペースや施設は確保されるか。

大切にしたい視点	第1～3回WS意見	評価軸(案)
⑨大江山のシンボルとして拠点になる(地域の一体感)	<p>農改センターは大江山の中心にあり、利便性が良く、人が集まりやすい。多様な年代の利用者がいるので世代交流につながる。大人数が集まれるこの規模の施設は必要だ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の拠点施設として活性化は見込めるか。

《評価表のイメージ》



■ 評価軸(案)と課題解決の狙い

前項で挙げた評価軸(案)を基に、課題解決の狙いを整理しました。

評価軸(案)	課題解決の狙い
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民同士が交流できる居場所は確保しているか。 ・ 誰もが気軽に利用できる施設になっているか。 ・ バリアフリー施設となっているか。 ・ 多世代が交流できるスペースは確保されているか。 ・ 幅広い年代が使える施設となっているか。 ・ 身体を動かす広いスペースは確保されているか。 ・ 大人数が集まるスペースや施設は確保されているか。 ・ 地域の拠点施設として活性化は見込めるか。 	①地域のまとまりや一体感を形成する
<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子が集えるスペースは確保されているか。 ・ 多世代交流できるスペースは確保されているか。 ・ 若者が過ごしやすい居場所・学習スペースは確保されているか。 	②子育ての環境、若者や高齢者の居場所をつくり、地域を活性化させる
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設運営コストは削減されるか。 ・ 維持更新費用は削減されるか(改修・改築費)。 	③過度な財政負担が将来世代に残らない
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多用途に利用できる施設になっているか。 ・ 施設面積は削減されるか。 ・ 施設の効率的な活用に繋がっているか。 ・ アクセスしやすい施設配置となっているか。 ・ 歩いて行ける場所に集まれる施設はあるか。 ・ 十分な駐車場は確保されているか。 ・ 使いやすい駐車場は整備されているか。 	④既存の建物の有効利用、利用率を高める工夫、利便性向上を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して生活するため、災害時に避難できる施設はあるか。 ・ 地域に備蓄倉庫は整えてあるか。 	⑤災害に強く安全な地域をつくる

■ 再配置案作成の考え方

これまでの議論をふまえて、再配置案を作成しました。

《 案 A～C 共通 》

老人憩の家大江山荘・大淵荘は風呂機能の設備改修が困難になるまで存続とします。また、風呂機能が廃止されても、農改センターが整備されるまでは、コミュニティ機能を維持します。

老人憩の家廃止後は、農改センターなどを活用することができます。農改センターでは、誰でもくつろげるスペースを整備するほか、バリアフリーに配慮します。

大江山地区図書室は、学習スペースを農改センターに確保し、廃止します。

《 案 A のポイント 》

「(大江山農村環境改善センターを) 現状のまま維持してほしい」「部屋数が多く広いスペースを確保」とのご意見から、**現在の農改センターを最大限活用しながら多世代交流を図る案**としました。

《 案 B のポイント 》

「スポーツ、イベント等のためにも現状の広さのホールは絶対に必要」とのご意見のほか、「利用率の低いところは縮小統合」とのご意見から、**多目的ホールを有効活用しながら、現状の利用に見合う多世代交流拠点をつくる案**としました。

《 案 C のポイント 》

「利用率の低いところは縮小統合には賛成。建て替えは必要な機能を取り入れた上で、面積を縮小するとよい」とのご意見から、**農改センターを新たに建て替え、多世代交流拠点をつくる案**としました。